

# 所 弓 便

第18号

NPO 法人 所沢市弓道連盟

会員 245名

∞ 熊本地震災害関係 ∞

## 義 援 金

熊本地震災害義援募金として5・6月と道場に設置した募金箱にご寄附頂きました47,694円と所沢市弓道連盟からの拠出金30,000円の合計77,694円を西部支部、埼玉連、全弓連を通じて全九州弓道連盟連合会宛てに送金いたしました。なお、西部支部の合計額は296,025円、埼玉連全体では1,531,770円でした。

会員皆様のご厚情に深く感謝いたします。有り難う御座いました。

∞ 各部報告 ∞

## 【総務部】

### 会員数

11月30日現在の会員数は245名です。

### 新会員

28年6月以降に入会された会員の皆さんです。  
 安藤汐里 清水宣文 長崎栄一 長尾麻衣  
 津本美穂 山澤重雄 石塚彩夏 京 亜紀  
 小泉聡美 原田 健 山本佳那子 西野朱夏  
 村上尚子 長尾 健 中島結華梨 小寺紀晃  
 小寺優子 越前谷瀬奈 米沢真樹 幸村 巧  
 高橋鮎未 小野好貴

## 昇格・昇段

平成28年5月29日以降28年11月5日までに昇格・昇段された皆さんです。

教士 松寄恭子

五段 関口二郎

三段 引地靖子

二段 青山恭子 新井夏織 小寺加代 近藤麻美

川島幸世

初段 関口純子 小室 勇 安藤汐里

## 故橋田榮次先生追悼射会

昨年5月に102歳の天寿を全うされて逝去されました、所沢市弓道連盟第六代会長範士八段故橋田榮次先生の追悼射会を平成28年6月5日所沢市武道館弓道場において開催いたしました。

当日は、梅雨入り模様の曇天でしたが気温も程よく追悼射会に相応しい日和となりました。

安土には、故橋田榮次先生が所弓連会長として建設に尽力をつくした所沢市武道館弓道場開設記念の「行 徳」の幕が張られ、故先生の遺影は射場師範席中央に浅黄の幔幕を背景に供花に囲まれて安置されました。

開会式の冒頭、新家会長の先導で遺影に対して出席者全員が拝礼し、引き続き会長挨拶の中で故先生のお人柄を表すエピソードを披露されました。

その内容は、全弓連審査規程（称号を受ける資格）錬士の部に規定されている「志操堅実」を例えに引き、ある時橋田先生の全日本選手権大会出場当時の動画を見る機会があり、それから50年経った後も手の内が全く変わっていないことに気付き正に志操堅実を例えるなら此のことと納得したとのお話でした。故先生が錬士を授与されて以降射法と指導法に関しては、全く揺るぎがなかったとのそのお人柄を彷彿とさせるお話でした。

ご来賓の所沢市弓道連盟顧問並木正芳様のご挨拶の後射会に進み各射手は、追悼射会により本座にて遺影に対して爪甲礼で弔意を表したのち白的に奉射いたしました。

巻藁射礼 永島英男先生、矢渡 新家 透会長の

後、弓道関係来賓者としてご臨席頂いた埼玉県弓道連盟西部支部 森川寛人先生、朝霞 大塚 進先生、大井 加藤良子先生、上福岡 齋藤安次先生、志木 平船栄治先生、志木 室町純子先生、新座 福田ちえ子先生、新座 松高桂子先生、富士見 平塚雄一先生、三芳 加藤憲男先生、三芳 亀井妙子先生の11名の先生方に追悼の射礼を一つの奉射いただきました。

昼食休憩の後、所弓連会員68名による追悼の射を14立で順次に奉射した後、驍師でもあられた故先生の弓道と驍師両方の弟子である熊井紀一先生の納射が奉じられました。



(納射 射手 熊井 介添 嶺、篠原各先生)

最後に草賀 淳所弓連相談役から「本日の追悼射会は大変厳粛に行われ故橋田榮次先生もご満足なされたことと思う」との閉会の言葉を頂き無事終了いたしました。

#### 第49回武州弓道大会

平成28年11月23日(水・祝)、所沢市民武道館において、恒例の「熊野神社弓祭り・第49回武州弓道大会」が開催されました。心配された天候も、寒さは厳しかったもののまずまずもち、近隣都県より昨年を若干上回る536名という歴代2位となる大勢の弓友の参加を得て、大熱戦が繰り広げられました。

本大会は昭和40年に第1回が開催されましたが、昭和48年に会場を熊野神社境内の道場に移して以来、熊野神社への奉納射会として開催され

てきております。

規模の拡大と駐車場の関係もあり、6年前に会場が所沢市民武道館に移されました。当朝7時30分、会長以下代表者出席のもと、熊野神社にて大会の安全と成功を祈念してお祓いを受けました。

大会々場では全員で熊野神社に遥拝。新家 透大会会長の開会挨拶に続き、ご来賓の藤本正人所沢市長、内藤隆行教育長、秋田 孝市議会議員、並木正芳当連盟顧問より激励のご挨拶を頂きました。

次いで、射手 新家 透会長、介添 奥富季乃、澤田靖子両五段による矢渡の後、熱戦の火蓋が切って落とされました。

4射2中以上の予選通過者は225名(42%)。内37名が4射皆中賞を獲得。

決勝射詰1射目で101名に絞られ、その後5射目以降は8寸的に替えて熱戦が続きましたが、決勝11射目において寄居城北高校の小池隆志選手が栄えある優勝を飾り、トロフィーと賞品の竹弓を獲得。その他25位までの入賞者が、竹矢、矢筒、ジュラ矢など豪華な賞品を獲得して大喜びでした。最後に草賀 淳大会委員長に講評を頂き、また来年の再会を約して無事お開きとなりました。



(優勝した寄居城北高校 小池隆志選手)

## 弓道場関係

今回、所弓連関係では、大会の運営に精力を使い果たしたためか、入賞は4位の下田 徹選手ただ一人という残念な結果に終わりました。武州大会は所弓連の最大行事の一つですが、前日の準備や、当日お手伝いだけに来て頂いた方も含め80名の参加会員の皆様には、スムーズな大会の運営にご協力頂き、深く感謝致します。ただ、例年400名を越すような大きな大会の運営には、少なくとも90名程度の会員の参加が欲しいところで、いろいろご都合はあるとは思いますが、来年はより多くの会員の参加を期待致します。

なお、競技にも参加し、矢取りに一生懸命協力してくれた7名のスポーツ少年団の弓友諸君に感謝致します。(成績は後掲)

## 総会・理事会・常任委員会・部長会

## 8月14日 第2回部長会

- ・新道場建設関係 (略)

- ・大会、射会関係

- 百射会 12月25日

- 初射会 1月14日

- ・初心者教室講習会

- ・シンコースポーツ初心者弓道教室

## 8月21日 第2回常任委員会 (26名)

- ・新道場建設関係 (抄)

会長より新道場候補地に関する説明があった。

8月2日に所弓連全理事(6名)が出席し、市開発指導課ほかと打合せを行った。

市から市街化調整区域への道場建設は可能性ゼロではないが、市全体が認めるような案件でないとの説明があった。

今後も市への働きかけを検討するが、場合によっては、まず土地の確保を優先し、上屋は別途考えるなどの長期構想で臨む必要もあろうかとの報告があった。

- ・今後の射会予定等 (略)

## 6月29日

矢道アクリル板防矢工事

## 7月19日 (前日の雨が上がり高温多湿)

残っていた矢道人工芝半面張替えの支援を行った。参加して頂いた皆様ご苦労様でした。



(炎天下での大変な作業でした)

## 【指導部】

## 定期講習会

水曜講習会 (見原重信先生) (毎月第4水曜日)

土曜講習会 (草賀 淳先生) (毎月第2土曜日)

## 初心者弓道教室

## 所弓連主催初心者弓道教室

期間：5月21日～6月25日

毎土曜日 午後1時30分～4時30分 全6回

7月から8月まで土曜日13時から15時まで  
毎回10名程の参加者を得てアフターフォローをしました。

## シンコースポーツ初心者弓道教室

期間：10月15日～11月19日

毎土曜日 午後1時～4時半 全6回



(シンコースポーツ初心者弓道教室の参加者)

## ∞ 投 稿 (1) ∞

### 直前の講習会で目が覚めました

藤原 敬一

平成28年4月23日、前橋市にあるぐんま武道館弓道場での錬士審査に合格しました。皆様のお蔭と感謝しています。ありがとうございました。

このところ関東地区の審査に挑戦しています。先輩の「上手くなったね」という言葉をまともに受けてしまったのです。

審査が近づいた4月3日、西部支部の特別講習会で「肌ぬぎ動作」の実習がありうまく出来ませんでした。翌週の10日は県の講習会です。ここでは「入場から退場まで真剣に、しっかりとしたイメージを持って動作しなさい」と指導され、どこが悪いんだろうとおもい、集中できていないと受け止めざるをえませんでした。

残り少ない日々ですが、「肌ぬぎ動作・体配」は、少しずつ稽古をかさねました。「射」のポイントを、「右肘を意識した大三」としました。何時も教室で直されるところです。同時に、甲矢・乙矢はそれぞれ独立した一箭です。乙矢を疎かにすることもできません。教本にある「一箭に誠を尽くす」という言葉を噛みしめる稽古を心がけました。

当日は、二人の欠席者があり「大前」です。自分のリズムで動作できます。練習の成果がありま

した。体もスムーズに動きます。二つ中りました。二次審査の「持ち的射礼」では、甲矢ははずれましたが、乙矢に思いが通じました。成功です。これからも努力を続けたいと思います。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

### 風邪をひいて

関口二郎

体がだるく医者に行くと38度の熱。審査の二日前のことでした。ああ、審査が近いのに風邪を引くなんて。どうしよう、審査は待って欲しくないし、今まで準備してきたことが水の泡かと思い、落胆しました。

当日は筆記テストの時間が変更されたことなどもあり、緊張と風邪の影響で調子の良くない私は、弓友の心配を呼んだようです。同じ時間帯に筆記テストを受ける方に「このジイサンを連れて行って」と託される始末。

しかしそんな状態で審査を受けたのが良かったのでしょうか？弓友がかけてくれた言葉は「会もあり、離れも良かった」でした。まだまだ基礎の疎かな私です。先生の指導のもと、足踏みからやり直そうと私なりの修練をしまいましたが、多少の成果が出たのでしょうか。

結果は合格。実感はありませんでしたが、登録料を納める際に係りの方が「おめでとうございます」と声をかけてくださったり、弓友からのお祝いのメールを受け取ったりして、やっと合格を実感した次第です。

皆様のご指導を賜ったの合格と、大変嬉しく、心から感謝申し上げます。良き先生、気の置けない弓友を得た幸せを感じながら、今後も精進して参ります。ありがとうございました。

## 四段に合格して

青山久美子

いつもご指導くださいます先生方、一緒に練習して下さっています皆様、いつも本当にありがとうございます。

この度、四段に合格することができ、とても嬉しく思っています。いつも寝つきの良い私ですが、合格した日の夜は、昼間の緊張のせい合格の嬉しさのためか、興奮さめやらずで布団に入ってもなかなか寝付くことが出来ませんでした。

私は三年程前に下関から引っ越してきました。所沢の道場に通いはじめた頃は新しい道場に緊張していました。弓道は全国どこでも同じかと思っていたのですが道場や地域によって少し違いがある様なので、しばらくは初心者気分でした。

一番驚いたのは審査の方法に違いのあることです。埼玉県では初・弐段に埼玉方式というのがありますが、下関では三段に甲矢を引いたあと（持的で見られるような）安土の方に向きを変え本座まで後退する・・・といった様な動作があったりします。また四段では定め座をとり、たすきも最後はずして綺麗に納めるところまで出来ないといけません。

私は下関で三段をとって以来今回久しぶりの審査になりました。急に審査を受けようと思うようになったきっかけと一緒に弓道をやっている二人の娘です。なぜきっかけになったのかをお話しますと長くなり、原稿依頼の字数をはるかに越えてしまいますのでまた何かの折にしたいと思います。

いくつになっても夢中になれるものと出会えることは素敵なことだと思います。私は今、弓道がとても楽しくて好きです。これからもこの気持ちを忘れず弓道を続けていきたいと思っています。

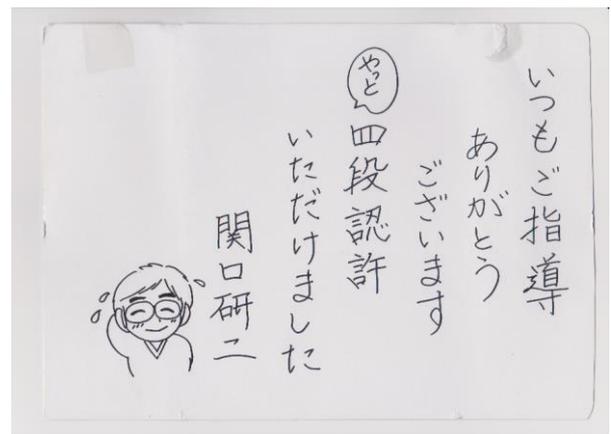
皆様、今後とも末永く宜しくお願いいたします。

## 前日の絵

関口研二

この度、やっと四段認許をいただきました。下田先生をはじめご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。そして、こんな自分を応援してくれた先輩方、弓友心強かったです、感謝です。私は本当に幸せ者です、ありがとうございました。

そして今回もう一人私を心から応援してくれた人がいます。昨年秋の教室から弓道を始めた私の相方です。彼女には少し絵心があり審査の前日、私の合格を念じ絵をかいてくれました。合格して先生に電話をしている絵、合格まんじゅうを持っていく絵、「四段です」Tシャツを着て昇段祝賀会で乾杯をしている絵等々、私はこの絵を前日の夜しっかり見て床につきました、必ずこの絵の通りになると信じ。



そして当日、何と皆中！！これは、まぐれとか偶然とかたまたまとか、そんな言葉で済ましてしまったらご指導いただいている先生に何と失礼な事か。

今回は先生の言う通りの射に近づいているのではないかと考えています。「努力は認める」「やや良し」「ちっとも良し」の射だったのではないかと信じています。そして前日の絵の通りになりました。感謝です。純子君本当にありがとう。

さて、これからが問題です「四段の射」をしなればなりません、責任を感じます。これからも更なる精進努力を続け「挑戦」していこうと思っ

ています。楽しみで仕方ありません。今後共ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

四段ですがもとい余談ですが、私はかなり寝言を言うらしく以前の残念だった審査から帰った夜、真夜中に「きゅうーどー」とさげんだそうです。寝ても覚めても弓道です、どんな時でも弓道です。でもまだまだ勉強が足りません日々勉強、凡事徹底頑張ります。

### 参段審査の記

杉山 博文

平成28年5月8日の地方審査におきまして、参段の認許を頂きました。日頃より丁寧にご指導下さった先生方、温かく見守り励まして下さった諸先輩、そして共に学び励まし合っている弓友の皆様、お陰で参段認証を頂くことができ、心より感謝申し上げます。

昨年度より「審査統一基準(五段以下)」並びに「審査学科試験問題」が開示されました。是によると参段の審査統一基準は、体配は、氣息整う。体配、審査の要領、概ね正しい。射法・射技は、射術の運用に気力あり、三重十文字、五重十文字概ね適正。手の内の働き、矢束・頬付・胸弦・的付け概ね適正。弓返りするのが望ましい。矢筋に力強い離れ。矢勢よく、残身に気合があるなどはプラス評価。的中やや確実。とあります。

参段審査を受審するにあたり一番の悩みは、離れの際、弓手が暴れ、妻手が上に離れること。「離れ」が、まるで横綱が「雲竜型」で土俵入りする姿そのものと先輩の弁。そして、最大の悩みである弦が半返りしかしないことでした。多くの先生方から、弓手や妻手の握り方の強さ・角度、腕の伸ばし方・肩の下げ方、腕・肘の高さ、角度等々再度、基本からご指導頂きました。これまで、力任せに矢数を掛け修練してきましたが、的中に中てることのみが目的でなく、全身を使って力まず、打起こし、大三、引分け、会、離れ、残身まで一貫の射を行い、的に真直ぐ矢が飛ぶことが最善の修練であることを覚えました。

審査当日は学科審査・行射審査共、午前中に行う予定になっていました。学科審査は予想通りの問題で無事終わり、すぐさま行射審査へ向かいました。行射審査は第一射場の午前最後の組、またしても大前(受審7回中、大前5回)。事前に下見も兼ねて弓友達と、審査会場で練習したこともあり、思っていたよりも緊張もせず精一杯の射を行うことが出来たと思います。ただ、一射目を外し、二射目は的中したものの、「離れ」の際、弓手の暴れが少し出てしまいました。今回、参段受審者は107名(第一射場53名、第二射場54名)この内、合格者18名(第一射場7名、第二射場11名)でした。合格者の内、二射的中は3名だと記憶しています。本当に「お陰様で」認許頂いたと言う思いで一杯です。

まだまだ未熟で至らぬことばかりですが、少しでも向上できるよう修練していく所存でございます。今後共、ご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

### 参段認許いただきました

中西誠一

5月8日の審査において幸運にも恵まれ参段の認許をいただきました。多くの先生方の懇切なご指導の賜物、感謝の気持ちで一杯です。

前日まで、とにかく一本は当てなければいけないとの思いが強くなり、かえって当たりがでませんでした。前日の最後の練習でI先生から会が早すぎて、しかも伸び合がないとの指摘を受けました。ずーっと課題にしていた一番大切なことが、当てなければと思う心が強く、どこかに行ってしまったのだと思います。審査の時はここだけしっかりとやらなければと心に刻み審査に臨みましたが、甲矢はやはり無我夢中での前の前に力なく外れてしまいました。乙矢で昨日の教訓が生きていないともう一度I先生のご指摘を思い出し、少し矯正ができたかよくわかりませんが、的の12時にあたりました。やれやれと戻ってきましたが、応援に来ていただいた先生方からやはり会が早く離れもいい時より雑だったと指摘を受けまし

た。反省しつつ結果発表を見に行きましたが、合格の判子が名前の横に押ししてありました。ほっとしたのとうれしいのと久しぶりに入試に受かったような感情を味わいました。

合格して反省できるというのは幸せなことです。ご指導いただいた各先生、先輩、一緒に弓を学ぶ仲間から感謝したいと思います。

さて、会社を退職して3年余、時々の飲み会・ゴルフで元の職場の仲間と旧交を温めています。その時の会話です。「会社辞めてサンデー毎日なにしている?」「弓道を始めたよ。」「へー弓道」と言って両手を広げて弓を引く真似、右手と左手が逆のこともあるが「そう和弓」「弓は腕力がないとダメなんだろう」「そんなことはない。力と技量にあった弓があるから、女性でも力がなくても大丈夫。むしろ無暗に力を入れたり、弓をぎゅっと握ったりするのはダメと教えられている。ゴルフでもクラブをぎゅっと握ったり、飛ばそうと思ってカ一杯振ったらだめだろ。ゴルフと相通ずるところもあるみたい」「なるほど。でもそれじゃー中西は弓道‘も’きっと上手くならないな。」「……………」

残念ながらいまだこの友人の予言が当たっています。脱力、会をきちんと持って伸び合うこと私にとって大きな課題です。これからも研鑽に励みたいと思います。一層のご指導いただきたくよろしく申し上げます。

### 邪心の整理 (参段の審査で学んだこと)

坂川隆人

日本弓道連盟が示す審査統一基準の参段の項には、「的中やや確実」であること、と書かれていて、少なくとも片矢的中であることが合格の条件となっているようです。初心者にまだ毛の生えた程度の我々にとって、緊張度 MAX の本番当日に、少なくとも一本を的中させなければならないことは、(特に、気の弱い私にとって) 極めて大きな重圧であると言わねばなりません。

審査の日が近づくにつれ、気分は憂鬱、練習に行くのも足が重く、的前に立てば何とか中てようという邪心満々、それでもなかなか中らず、そこ

で更に気分は憂鬱…、という悪循環。正射正中という言葉は理解できていても、「なんとかして中てなければならぬ」というあせりと「中たならなければどうしよう」という不安が先行して、射に關してだけでなく日常生活にも影響がでるとい、まさに「(変な) 射即人生」となっていた訳です。

落ち着いて考えてみると、なんとか中てようと思っ、中てるという結果自体を直接の目標に掲げて努力しようとしても、結果そのものをなんとかすることはできません。なんとかできるのは、射を構成する要素すなわち射法八節の各技術的要素なのであって、結局は個々の動作を正しく行うことが大切だという、まさに正射正中という言葉に帰着くのです。しかし、このことを素直に腑に落とせないのが、強迫観念と不安で一杯の参段受験生(私)なのです。

実際の射において、この問題が顕著に現れるのが「的付け」の段階だと思います。少なくとも私はそうでした。会に入る頃、中てたいという一心(邪心)で、的に対して異常に強い関心が注がれ、他がおろそかになっていたように思います。その結果、的中確率が落ちて、なかなか中らない…、どうしよう…となる訳です。ここには、技術的問題だけでなく、強迫観念や不安感といった心の問題があります。

では、どうするか。

色々と思考した結果、「的付け」の動作を、矢擦籐の一か所と的とを「単に合致させるだけ」の動作である、と考えることにしました。つまり、そこに深い意味を与えず、「的付け」は行射を構成する動作のひとつに過ぎないのだから、他の動作と同様に淡々に行うことに徹するのみである、と自分に言い聞かせた訳です。

こうすることで、(普段の生活も含めて) だいぶ気が楽になりました。

そして審査当日。

甲矢を外しましたが、思っていたよりも動揺は小さかったように思います。

続く乙矢が中り、本来は淡々としているべきなのですが心の中は大きな安堵感で一杯になりました

た。結局のところ、「淡々と行射すれば良いのだ」などと格好つけていても、その内実は、中り外れに一喜一憂をしているということでした。

まだまだこんなものなのかもしれませんが、今回の審査を通じて勉強になったのは、邪心を完全に無くするのは相当困難ですが、小さくできる可能性があることに気付かされたことでした。

今後は、物理的技術を向上させることに加えて、心を鍛えるということについても大いに興味を持ちたいと思っています。

<追記>

今回良い機会と思い次の書籍を読みました。悩める貴方！お薦めです。

①『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』(荒木香織／講談社+α新書)

著者は、日本代表チームのメンタルトレーナーを務めた、スポーツ心理学の専門家で、この本では心の問題とその「鍛え方」の技術が分かり易く書かれています。例の「五郎丸のルーティン」についても、射に関連して興味深い内容になっています。所沢図書館にあります。

②「弓射 その心理的考察」(八木君夫／愚心庵)

上と同じく心の問題が主題ですが、弓道に特化されています。所弓連の蔵書として控室の本棚にあります。

## 【競技部 (スポーツ少年団含む)】

### 《所弓連主催射会》

月例射会 (5月14日) (51名参加)

(二段以下)

1位 藤野雄史 2位 清水公子 3位 奥村紘美  
(三・四段)

1位 杉山博文 2位 宮嶋重明 3位 小島理恵  
(五段以上)

1位 下田 徹 2位 粕谷吉一 3位 藤田 良

月例射会 (7月10日) (61名参加)

(二段以下)

1位 荒木大亮 2位 森下珠美 3位 藤村純子  
(三・四段)

1位 中村康代 2位 飯尾 弘 3位 土井政明  
(五段以上)

1位 松寄恭子 2位 下田 徹 3位 藤田 良

月例射会 (8月14日) (59名参加)

(二段以下)

1位 青山恭子 2位 田中恵美子 3位 藤野雄史  
(三・四段)

1位 土井政明 2位 廣瀬雅孝 3位 青山久美子  
(五段以上)

1位 増田裕子 2位 平山夏子 3位 熊井紀一  
(特別賞)

清水公子 石塚正徳

## 第43回所沢市民弓道大会

平成28年9月11日(日)、秋の一日標記弓道大会が所沢市民武道館弓道場において、146名(学生93名 一般53名)の参加を得て盛大に開催されました。

各部優勝者による総合優勝決定戦は、学生の部は太田敦樹選手が、一般の部は下田 徹選手が見事栄冠を勝ち取りました。



(行射中の市民弓道大会参加選手)

## 《学生の部》

## (小・中学生の部)

1位 豊田琢真 2位 細沼亮太 3位 齋藤柗菜

## (高校初級の部)

1位 太田敦樹 2位 遠藤慶多 3位 岡野大誠

## (高校上級の部)

1位 進藤滉平 2位 佐藤桃子 3位 森 三咲

学生の部総合優勝 太田敦樹

## 《一般の部》

## (二段以下)

優勝 石川 舞 2位 石毛克恵 3位 中村千賀

## (三・四段)

優勝 中村康代 2位 中村徳海 3位 廣瀬雅孝

## (五段以上)

優勝 下田 徹 2位 平山夏子 3位 増田裕子

一般の部総合優勝 下田 徹

## シンコースポーツ杯弓道大会 (10月8日)

主催 シンコースポーツ株式会社

後援 所沢市弓道連盟

(参加者 所弓連52名、スポ少2名、所沢北高  
34名、その他5名)

団体 以下のほかに飛び賞4チーム

1位 深見恵子 横山高大 青木翔悟

2位 関口二郎 青田涼花 有田裕貴

3位 瀬賀邦夫 平井桃子 多田夏月

ブービー賞 山口正彦 石塚彩夏 山田真椰

個人 10位まで

1位 下田徹 2位 相原正志 3位 長井敦史

## 所沢市青少年三道大会 (弓道の部) (11月13日)

(中学生以下17名、高校生105名武道館)

青少年育成所沢市民会議主催の青少年三道大会が行われ、総合開会式は今年も市民体育館で剣道連盟が担当幹事として9時00分から開催されました。



(行射中の三道大会参加選手)

## 《小・中学生の部団体》

1位 スポ少E 齋藤柗菜 石田順之介

2位 スポ少A 西澤智美 稲垣老琉 稲葉唯花

3位 スポ少D 石井叶生 田中希実 沖園史華

## 《小・中学生の部個人》

1位 齋藤柗菜 2位 稲葉唯花 3位 石田順之介

## 《高校生の部団体》

1位 所沢商B 榎本あみ 長尾悠可 森 三咲

2位 所沢高A 太田敦樹 山田雄大 島津空輝

3位 所沢北3 篠宮梨里 坂口友香 星野朱里

## 《高校男子初級の部個人》

1位 山田雄大 2位 太田敦樹 3位 小林悠斗

## 《高校女子初級の部個人》

1位 武市あかね 2位 岡田尚子 3位 宮本佳奈

## 《高校男子上級の部個人》

1位 進藤滉平 2位 星 翔太 3位 鈴木友也

## 《高校女子上級の部個人》

1位 榎本あみ 2位 上野美穂 3位 森 三咲

## 《個人総合優勝》

山田雄大 (所沢高校)

## 第49回武州大会 (11月23日) (参加者536名)

1位 小池隆志 (寄居城北高) 2位 佐藤陽平 (大宮八幡)

3位 木川寿真 (匝瑳弓連) 4位 下田 徹 (所弓連)

5位 初野 匡 (大東文大) 6位 仲田健一郎 (神田外大)

7位 古澤知己 (狭山弓連) 8位 前田 彩 (群馬館林)

9位 水村亮太 (西武文理) 10位 長谷川雅亮 (江東区)

11位 清水政範 (川越弓連) 12位 藤塚優樹 (川崎弓会)

13位 千葉秀明 (毛呂山) 14位 前澤梨江 (春日部)

15位 鈴木真人(朝霞弓連) 16位 石崎紀夫(宇都宮)  
 17位 片岡拓巳(中央大学) 18位 宮崎舞子(東京第2)  
 19位 安野雄次(小川弓会) 20位 萩原友美(学習院女大)  
 21位 帆刈泰就(寄居城北高) 22位 山下莉奈(滑川総合高)  
 23位 岩崎建次(彩弓会) 24位 小森そら(飯能高校)  
 25位 室町純子(志木弓連)

### 《対外競技会》

#### 130回明治神宮奉納遠的大会(5月3日)

参加者4名 入賞者なし

#### 入間市近隣親善弓道大会(5月5日) 参加36名

##### 《個人》

8位 藤原敬一

##### 《団体》

入賞なし

#### ねりんピック予選大会(5月10日) 参加者5名

選考選手なし

#### 埼玉県弓道選手権大会等(5月21日22日)

参加者 称号者部:11名、有段者部:7名

##### 《称号者の部》

選手権3位 増田裕子

全弓連会長盾杯 下田 徹

関東三県及び全日本出場選手2次選考会候補選手

女子 三好啓子 嶺美智子 松寄恭子

##### 《有段者の部》

関東三県選拔出場選手2次選考会候補選手

候補者なし

#### 同上2次選考会(5月28日)

関東地域選抜選手権出場選手補欠 松寄恭子

#### 埼玉県実年者弓道選手権大会(6月1日)

参加者8名

入賞者なし

#### 埼玉弓連女子部遠的大会(6月12日) 参加者16名

称号者の部 2位 増田裕子

#### 埼玉県弓道遠的選手権大会兼全日本遠的選手権大会出場選手選考会(7月3日) 参加者14名

・埼玉県弓道遠的選手権大会

五段以上男子 優勝 粕谷吉一

・全日本遠的選手権大会出場選手2次選考会

出場者男子 粕谷吉一

#### 全日本遠的選手権大会出場選手2次選考会

(7月9日)

出場選手 粕谷吉一

#### 中部・西部支部親善射会(7月18日) 参加32名

入賞者 11位 平山夏子 17位 松寄恭子

#### 読売杯争奪 兼 具体予選 兼 寿射会(8月7日)

参加者190名(内所弓連55名)

##### 読売杯

3位 粕谷吉一 4位 甲斐久歳 6位 下田 徹

7位 増田裕子 8位 松寄恭子 11位 中村徳海

14位 中村康代 15位 藤原敬一

##### 寿射会

寿A 1位 下田 徹 3位 山口正彦

寿B 2位 甲斐久歳

##### 具体選手

##### (四・五段の部)

① 藤田 良 廣瀬雅孝 水口 清

② 中村徳海 小林孝則 飯尾 弘

##### (女子の部)

① 澤田靖子 土井恵美子 中村康代

② 奥富季乃 徳丸久美子 三好啓子

③ 深見恵子 田中明子 黒木宝子

##### (称号の部)

① 松寄恭子 増田裕子 松寄 昇

② 熊井紀一 平山夏子 下田 徹

③ 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男

#### 西部支部選手権大会 兼 県武道大会選手選考会

(9月3日) 参加所弓連45名 スポ少13名

##### 西部支部選手権

団体

3位 土井政明 関口二郎 中村徳海

個人

優勝 下田 徹 2位 粕谷吉一 3位 中村徳海

8位 深見恵子 9位 藤田 良

### 県武道大会選手

男子 粕谷吉一 中村徳海 下田 徹

女子 三好啓子 深見恵子

中学生の部

稲葉唯花 豊田琢眞 佐々木史弥 青山千桂

斎藤柊菜 石田順之介 沖園史華 西澤智美

### 埼玉県勤労者弓道選手権大会 (9月4日)

所弓連 12名参加

団体予選通過

所沢 D 松寄 昇 前島あき子 廣瀬雅孝

個人予選通過 前島あき子

### 第29回県民総合体育大会 (9月25日)

所弓連 8チーム参加

《称号者の部》

(遠的)

団体 2位 所沢 D 熊井紀一 平山夏子 下田 徹

3位 所沢 S 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男

個人 2位 熊井紀一

(近的)

団体

1位 所沢 Q 石川淳子 増田裕子 松寄 昇

3位 所沢 S 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男

個人

1位 下田 徹 2位 粕谷吉一 3位 石川淳子

### 第40回埼弓連女子部弓道大会 (10月16日)

所弓連 16名参加

三段以下の部 2位 森下珠美

称号者の部 2位 松寄恭子

## 【スポーツ少年団】

(\*スポーツ少年団の記事は、一部重掲、各種射

会記録は競技部にも掲載しています。)

### 所沢市弓道スポーツ少年団が福祉関係表彰

平成28年7月7日に所沢市文化センターにおいて開催された第40回所沢市社会福祉大会において所沢市・社会福祉法人所沢市社会福祉協議会(所沢市民生委員・児童委員連合会、所沢市赤十字奉仕団など30弱の福祉関係団体が参加する協議会)から所沢市弓道スポーツ少年団が所沢市青少年問題協議会会長表彰を受けました。

受表彰理由は「長年にわたり、弓道を通じ日本武道のもたらす様々な徳目を体現させ、青少年の身体と心の健全育成に貢献」となっています。今までも数々の受賞を重ねてきた所沢市弓道スポーツ少年団にまた一つ輝かしい功績が加えられました。

### 平成28年度スポーツ少年団初心者教室

(5月14日～6月18日まで 毎週土曜日)

参加者 16名

(中学生5名 小学生10名 保護者1名)

修了者 16名

(中学生5名 小学生10名 保護者1名)

### 平成28年度保護者会総会 (6月26日)

新入団員 8名

(中学生2名 小学生5名 保護者1名)

### 全日本少年少女武道錬成大会 (7月18日)

日本武道館

5チーム(20名)とも予選敗退

### 県民総合体育大会 (7月23日)

秩父第一弓道場 22名参加

入賞 男子団体3位

所沢スポ少C 吉田空翔 細沼亮太 豊田琢眞

### 秩父市スポーツ少年団弓道交流大会 (10月22日)

秩父第一弓道場 16名参加

入賞者

中学生男子 3位 齋藤 柊菜

中学生女子 4位 西澤 智美

## ∞ 投 稿 (2) ∞

## 審査を終えて

山下恵美

2016年2月21日、弐段の昇段審査を受けさせていただきました。

弓道をはじめて約1年と4ヶ月経ち、目標もなく練習を続けるのも…と思い、申し込みを決めたのですが、その審査は予定外のことばかりで頭が真っ白になるような本番となりました。

会場に到着し、まずは自分が何番目なのかを確認に行きました。貼り出されている紙を見ると、大前。「大前になってしまったか」と緊張が高まったのもつかの間、実際の出欠確認後のものを見ると、欠席者がいた為に私は落ちになっていました。そして「落ちは後ろに一步下がって本座のあたりまで下がってから退場…」と考えながら、待合の椅子に座りました。ところが、いつになっても4番の方がきません。場内のアナウンス・係の方の掛け声にも返事がなく、「これは私が4番になるのか?そうすると後ろの人が繰り上がってくるのか、それとも4人立ちになるのか…4人立ちの時って後ろに何歩下がるんだっけ?」と焦り始めました。ところが、次の待合に移動を始める直前、やっこのことで4番の方が来て、何とか5人で並べるとわかりました。

それから次の待合に座り、待っているところで、3番の方が「立射ですので、よろしく願いいたします。」と挨拶をされました。「4番の人じゃなくてよかった～」と思っていたら、少し間をおいて4番の方も「立射ですので、よろしく願いいたします」と言って来たので、「え～!!安心してたのに!立射の人の次の時は、いつ立つんだっけ…しまった、それ確認してない!!…どうしよう」と頭が真っ白になってしまいました。

そうこうしているうちに、私たちの番となり、入場です。ひとまず、本座まではいつもどおりでいいはず、と落ち着いて歩き、射位に向かいました。

いざ座ってみると、前二人が立射だとまったく

前が見えません。とにかく、できている風を装うしかない!と開き直り、二回ともなんとなくのタイミングで立ち上がり、射を終えました。その後、足を閉じる時乙矢の後なのに右足を後ろに引いてしまい、「あ!」と思いましたが、そのまま左足も斜めに閉じ、平然と見えるように退場しました。

不思議と初段のときのような体が震える緊張感はありませんでしたが、ただ立つタイミングだけをはかっていたことしか憶えていないほどだったので、「これはもうだめだ…」とあきらめていましたが、結果発表を見るとなんと「合」の文字をいただけていました。

日頃から「間違っても堂々としていればいいんだ」とおっしゃっている先生方の言葉を思い出したおかげだと思いました。

今回は、私にとってハプニング続きの審査でしたが、終わってみればこういうことにも冷静に対応できるようになってこそその昇段なのだろうなと思いました。

今後はもっといろいろなケースにも柔軟に対応できるよう、修練に励みたいと思います。

## 弓道についてⅡ

田中恵美子

所沢弓道連盟の歴史は40数年の長きに亘るそうですが、共に歩んできた熊野神社道場が壊された年に入った私は、残念ながら道場で一度も弓を引く事は叶いませんでした。1998年に生まれた息子は心臓に疾患があり、地元の氏神様として熊野神社へ毎月19日(誕生日)に二人でお参りに行く度、道場で弓を引いているのを見ていました。今、深く縁を感じます。幸い神様がお願いを聞いてくださり息子は10カ月で完治しました。その息子もこちらに入会し初段を頂き、高校3年になった今、受験に向けいいスタートがきれました。

また、私が入会した頃に亡くなられた橋田先生にはお会いすることができませんでした。こちらでも大変残念なことです。今年の6月5日に橋田先生の追悼射会があり、新家会長が橋田先生を偲ん

でされたお話しは興味深いものでした。

『志操堅実』自分の主義や主張などを固く守って変えない心、手堅く確実だということ。(3階程の錬士の称号を受ける資格に記されています。)

橋田先生の50年前のビデオは生前の行射での大三の形が全く変わらなかったと言います。どれだけご自分の弓に確かな信念があったのでしょうか…凄いことです。先生は射を完成されてから50年間、要はずっと同じ修練をする(した)ってことです。志操堅実を絵に描いたような方だったということです。又、草賀先生の「追悼の辞」を拝読しますと、躰師だった橋田先生は右の肩を壊されても、左仕様の躰を造り左手で弓を引いていたと載っていました。弓に対する情熱がすべてを超越していたのでしょうか?とても胸が熱くなりそんなお姿を一目拝見したかったです。

私は弓歴一年の若輩もの、それでもこの一年間色々ありました。自分の中であーでもない、こうでもない、昨日はできたことが何故今日は出来ないのかとつくづく弓道の難しさを感じています。とは言え、不動の的相手のスポーツ、中り、外れ(成功と失敗)を繰り返すことが人生と重なるからか?本当に面白い。師匠の教え通りに気力を充実し発せられた時、偶の快音を味わえると中々興味が尽きません。以前、継続する大切さについて会長がおっしゃっていたように3年は絶対に続けてみようと思ったのですが、もう少し長くなりそうな気がします。

『身の規矩(かね)を作る』大工さんはよくこの言葉を用いるそうですが、動きの連鎖を繋げ身体に染み込ませていく。という意味だそうです。私も少しずつ自分の規矩(きく)を造っていきたいと思います。

弓を始めたこと、学ぶ意味、目標はそれぞれ違います。またどんなに的中にこだわっても結局は地道な修練と正しい射で本当の的中が見えてくるのでしょうか。その中でどう生きていくかを見出したと思われる橋田先生に思いを馳せます。又、息子もこの先弓道を通してどのような成長があるのか楽しみます。

継続こそ力なりと精進し参段を目指し、私自身も志操堅実でありたいと思います。

## 初段の審査

前澤朋子

5月の日高の審査で初段に合格できました。日頃より丁寧にご指導して下さいました先生方、また折々に励まして下さった諸先輩方に心より感謝・感謝です。

私の弓道は飯能での初心者体験教室が始まりでした。一年程して昨年所沢に入会させていただきました。荘厳な雰囲気のある神社道場に四か月程通い大勢の先生方、先輩方のお顔と名前が少しずつ結びつきました。暑い夏の最中今度は武道館道場と目まぐるしく時間が過ぎていきました。

9月の秩父の審査を受けましたが一級でした。10月からは初心にかえり、じっくり取り組もうと心に決めての武道館通いになりました。

「精がでますね」等と優しく声を掛けていただきご指導を受けましたが、なかなか私には理解出来ず、響かず、サプリメントの効果ではありませんが「この効能には個人差があります」と実感するような日々に、心が折れそうでした。

巻藁前に長居する私に大先生が「小さな目標を定めるんですよ。又漠然と射場に入らないように」と話して下さいました。先ず教本を何度も読み返しました。疑問に思ったこと解らない点はその都度先生に尋ね解決しようと思いました。

射会・弦友会・講習会にも参加し苦手な体配の練習にも時間を割き励みました。

審査当日は、日頃注意されてる点を念頭に置き、今私の出来ることを精一杯堂々とやろうと深呼吸をし、息合いに気をつけ入場しました。四人立の落ちでしたが動揺することなく落ち着いて引くことが出来ました。

弓道の入り口にやっと立てました。これからも少しでも向上できるように、次の目標に向かって努力していきたいと思います。今後ともご指導よろしく願いいたします。

## 気持ちの切り替えて

清水公子

「弓道を始めたい」この念願が叶った昨年5月末。初心者教室に胸躍らせて参加致しました。しかし、いざやってみると初めての身体の動きや聞きなれない単語にパニック寸前。なんとか初心者教室を卒業したものの、時間が空けば道場に行くというスタンスでいた私は、上達するはずもなく、昨年末進歩のない自分に無性に腹が立ち、「時間がある時ではなく、時間を作って定期的に練習しよう」と心に決め、コツコツ道場に通いました。その中で、先生方・諸先輩方から懇切丁寧にご指導いただき、5月の審査の日を迎えました。

初段は開会式後すぐの実技審査だったため、バタバタと準備しいざ射場へ。「失敗しても命を取られるわけじゃないから」の先輩からの一言のお蔭で緊張し過ぎることなく、実技を行うことができ合格をいただくことができました。

昨年末、弓道に向かう気持ちを切り替えていなければ、合格どころか進歩もままならず、弓道から離れていただろうと思うと、あの迷っていた時期にそばにいてくれた同期や友人、ふっと優しい言葉をかけて下さった先輩・先生に感謝です。

長い付き合いになれそうな弓道、山積みの課題を一つずつこなし上達していけるよう、精進していきたいと思います。

## 感謝と共に

湯浅紀美子

弓を始めてちょうど一年経った風薫る五月。一つめの目標であった昇段審査を受けることが出来ました。その日は暖かい日であったにも関わらず、緊張で震えが止まらずにありました。それでもいつもと変わらぬ気持ちで引こうと心に決めて射場へ出た結果、有り難いことに初段合格をいただくことが出来ました。

いつも通りにと心がけてはいてもやはり極度の緊張の中です。甲矢を引いた際に矢先が落ちてしまい、大変動揺する場面がありました。その時、いつも習慣的に先生からいただくお言葉が聞

こえたような気がしました。「湯浅さん、もっと強く引いて」一度緩んだ弦を更に強く引きましたところ、矢が的に入りました。

普段からの稽古の成果はこのようなところで役に立つのだと強く感じた出来事でした。

毎回丁寧にご指導くださる先生方、励まし合った同期の仲間、見守ってくださった先輩方には尊敬の念と共に多大な感謝を込めてその思いをここに述べさせていただきたいと思います。

初めて道場へ足を運んだ際、そこには道着に身を包んだ先生方の凛としたお姿があり、大変奥ゆかしい武道の美しい片鱗を見た気がして、自身もその中に身を置ける喜びを強く噛み締めたのを今でもまるで昨日のようによく覚えております。

先生方、先輩方が眩しく見え、憧れを胸にその後を追うように続けてまいりました。

人を見て、素直にその所作や身のこなしを美しく感じ、ここまで追求したいと思える経験は自身にとっては希有であったと思います。これからも弓を引く方々からたくさんのお話を学ばせていただき、弓を通じて人としての在り方や他への気遣いを学びたいと望んでおります。無知で至らぬ所もたくさんございますが、どうぞ今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

## (初段合格寄稿)

筒井さくら

平成28年5月8日の地方審査におきまして、初段をいただきました。

天候にも恵まれ、会場はにぎやかで、とても楽しかったです。術科や学科の前には所弓連のみならずさまから優しい声をかけていただき、とてもうれしかったです。また、行き帰りには一緒に車に乗せていただき大変助かりました。みなさまのお気づかいのおかげで、初めての審査でしたが楽しんで受けることができました。

私は審査がすべて午前中に終了したので、午後は先輩方の審査を外から拝見することができました。美しい射と見事な中りを見て感動したり、審査は水ものであると思わされる悔しい場面もあり

ました。

合格できたのは、先生方、先輩方、弓友の方々のご指導と励ましのおかげです。心より感謝申し上げます。これからはより努力してゆきますので、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

ずっとやりたかった弓道を所弓連で始めることができ、本当に幸せだと思っています。尊敬する方々に出会えたことも、一生の宝物だと思っています。弓道のある生活はとても楽しいです。

## 和 弓

田中 陸

この度、弓道初段を取ることができました。これもひとえに渡邊先生をはじめ教えてくださった先生方のお陰だと思っています。

かねてから集中力に欠けるところがある僕はスポーツをすることでそれを高めようと思っていたのですが、弓道は筋力と知力を同時に使うことができ、最近では格段に集中力が上がりました。

以前より和弓の形に非常に興味を持っていたので一度やってみたいと思っていました。モンゴル弓など他国の弓では馬上での運用の為にコンパクト化され長距離を飛ばすための改良を施されてきたのに対し、弓道で使われる和弓はその耐久性と威力を上げるために長大化し世界で最も長い弓となっています。この弓の形は弥生時代にまで遡り歴史が非常に古く日本だけで発達した形だと言えます。中距離の標的を正確に狙うことができ、様々な検証から武器としての性能は世界中の弓を比較してもトップクラスで、洗練されなおかつ高性能な武器であると言えるのが和弓です。

そして日本の武道の一つであるこの弓道を経験できたことで日本人の精神性について学び、また世界的にも異質な形状をする和弓についての理解を深めその起源を考察してみようと思っていました。また僕は登山もやっていたので、部活でのトレーニングメニューが厳しかったので、弓道はさして体力を必要とせず自分にちょうど良いのではないかと思ったのもはじめた動機です。

最後に、弓道に導いてくれた母に感謝です。

## 初段審査を受けて

村野 百合

「習い事するなら弓道やってみたいよね。」私が弓道を始めたきっかけは職場の同僚のこの一言でした。

高校受験時、弓道をやりたくて、しかし入学した高校には弓道部がなく、そこにあったアーチェリー一部に入部しました。しかし、本当は弓道がやりたかった。凛々しい立ち姿にあこがれていた。そんな気持ちが一気に甦り、弓道をネットで調べてみると、運命的に初心者教室の締め切りがあと10日というときでした。

初心者教室の開始から約7か月。審査を受けることを決めても、なかなか練習に行くことができず、実技についても学科についても不安がありました。しかし、私たちの成長を見守ってくれる恩師がいる。同じ目標に向かう仲間がいる。というのは本当に心強いものでした。

当日は、急遽の欠員で大前になり、さらに予定時間よりもかなり早くなり、十分な心構えができませんでした。体配は思ったよりも落ち着き行うことができました。しかし、あまりにも審判の方が近く、そこで頭が真っ白に…弦調べ篋調べをすっかり忘れ、さらにその瞬間に審判の方と目がパチッと合ってしまいました。甲矢は私の頭の中と同じように明後日の方向へ飛んで行ってしまいました。けれどもそこで緊張が解け、乙矢はしっかりと丁寧に行うことができました。

とても長い1日でした。しかし、とても充実した1日でもありました。今後、弓道が続いていくにあたり、色々な経験を積んでいくのだと思います。しかし、この長い1日の事は決して忘れられないものとなりました。

いつも丁寧に、本当に親身になって教えてくださる先生方、先生方のおかげで、ここまで来ることができました。先輩方にもたくさんの励ましをいただきました。また、いつも見守ってくれる良い仲間たち、出会えたことに感謝しています。数々

の方の力をお借りして、初段の免状をいただくことができました。

なかなか練習に行くことができず、全く成長をお見せできていないのですが、地道に目標に向かい、精進していきたいと思えます。

## 安土に届け!!

中村千賀

先生方、諸先輩方、いつも優しく丁寧にご指導下さりありがとうございます。楽しく弓道ができる環境に本当に感謝しております。

保育園と家の中間位置にある弓道場を8年間憧れ見上げ続け、昨年10月の初心者教室に突然奮起し申し込みました。仲間にも恵まれ、楽しく始められました。

さて、初段審査前日、緊張からか矢所定まらずズリ矢ばかりになり大変困惑しました。

そんな不安の中、新しい弦を平山先生と奥富先生に作って頂き、試しに引くと運良く的中したので思い切ってその1手で切り上げると、帰る間際目黒先生ご夫婦から「普段と違う事や、良い格好をしようと決して思わない様に!」と、お言葉を頂き、より一層気持ちを引き締めました。

審査当日は、日高に向かう車中で仲間に爆笑された位“ド!!緊張!!!”、呼吸するのも忘れていた程です。そんな状態で準備し射場の入り口を探しているうちに、開始時間が早まっていた様で、既に一番目の方達の実技の真っ最中。二番目の自分達は、あれよあれよと言う間に出て行く羽目になりました。

一つの動作毎、頭の中で先生方のお声が里見八犬伝の様に順番に響きました。飯島先生、平山先生、新家会長、草賀先生、篠原先生、熊井先生、甲斐先生、奥富先生…。

自分がちゃんとお声通り行ったのかは全く覚えておりませんが、甲矢の会と離れの時に、『安土に届け!!』と強く願ったのは覚えています。

結果は、見事!!2本とも外れました!! …が、無事安土に届きました。人生初の白星です。今考えると…前日に不調になった事が的中する事は全

く意識せずに来る事になり良かったのかもかもしれません。

まさか大人になってから、こんなに勉強を頑張るなんて思ってもみませんでしたし、夢中で弓道場に通う自分が存在するなんて思ってもみませんでした。出来る事なら毎日道場に通いたいのですが、仕事等でそれが出来ない現状の歯痒さを感じつつ、自転車の後ろに子供を乗せ、朝夕道場の窓を見上げながら素通り爆走しています。

こんな緊張し捲りの私でございますが、これからも、楽しく弓道が続けて行きたいと思っておりますので、末永くご指導下さいます様、よろしくお願い申し上げます。

## (初段合格寄稿)

荒木大亮

年明けから異常な忙しきで練習がほとんど出来ず、3月中旬にやっと復帰して「さあ、これから!」と、はりきったのも束の間。久しぶりの練習で左肩を痛めてしまい弓を引くどころか腕を上ることすら出来なくなってしまいました。

5月8日の審査が日1日と差し迫りくる中、体配の練習をしながら焦る気持ちをじっと我慢すること3週間。ようやく弓を引けるようになり練習を再開しました。審査まであと一か月。同期の仲間たちや先輩方、先生方と体配の練習をさせてもらえたことで、少しずつ自信を取り戻すことが出来、本当にありがたく思いました。

そして審査当日。朝一の実技審査では入場で緊張した後は集中して立つことができました。弓構えからは、こちらを見る審査員に『どうぞ見てください。これでどうですか。』という気持ちで弓を引いている意外にも大胆な自分に少々驚きながらも、清々しさを感じることができました。

そして学科試験。じつは学科の勉強がほとんど出来てなかったわけですが。

教科書の、あのわかりにくい日本語を頑張って読もうとしても頭が拒否反応を起こしてしまう自分の性格。文句を言っても始まらないので潔くあきらめてヤマを張ることにしました。

実技では2射とも外しましたが、果たして学科のヤマはみごとの的中し、ひと安心。おかげさまで運良く初段を頂くことができました。

教えてくださった先生方、一緒に練習して下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。普段の練習の大切さを実感しながらも、その後もなかなか練習に来られないのですが、美しい射を目指して頑張っていきたいと思いますので、先生方、諸先輩方、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 初段合格

小笠原 真希

まずは、ご指導頂いた先生方、先輩方にお礼申し上げます。いつも優しくご指導して下さりありがとうございます。

私は昨年10月から初心者教室で弓道をもう一度始めました。実は過去に1年程経験がありました。ずっとそれを隠しながら練習に励んで来ましたが、先輩方先輩方にはあっさりに見破られてしまいました。経験があると真剣に見てもらえないのでは…という不安からでした。ですが、過去がバレた後でも変わらず先生方、先輩方は未経験者と同じ様にご指導してくれました。所沢弓道の皆様は本当にいつも、誰しも暖かく接してくれます。そんな環境の下、私の同期は人数が少ないのですが、みんな伸び伸びと弓道を楽しむ事が出来ています。今回5月の審査に合格した事は、そんな環境を作って下さった皆様のおかげでございます。

審査当日は二番目の組みで、心の準備の暇もなく審査が始まってしまいました。ですが、普段の練習の通りに身体が動いている事が分かりました。不思議と射の時は側に先生がいる様に感じられました。

これからも昇段を目指しながら、自分なりの弓道を探し、弓道を極めていけたらと思います。

### 初段審査を終えて

関口純子

6月19日大宮公園にて初段認許をいただきました。お世話になりました先生方、本当にありがとうございました。

審査当日緊張の中、実技が始まる。射法八節を間違えぬよう（自分なりには良い感じで）甲矢。まさかの手前の芝生に刺さる。「何故だ〜」残心時に一瞬気が遠くなる…。でも私には次の所作が待っている。気を取り直して跪坐。すると後ろの方とぶつかる。「あ〜ごめんなさい」振り返ってすぐ謝りたい…。でも私には次の所作が待っている。（後で謝ろうと決め）切り替えて乙矢。なんと的に当たる。嬉し過ぎてすっかり興奮状態…。しかし喜んでいない場合じゃない。私には次の所作が…。わずか10分足らずの間にこれほど濃い喜怒哀楽を味わう事は滅多にないだろう。と後から思った。

思い起こせば、家族に勧められ[わずかの期待]と[かなりのとまどい]の初心者教室。全く周りについて行かれず落ち込む日々。けれど先生方の丁寧な指導により、なんとか修了書をいただきました。

もともと「六日のあやめ（自称9月のスイカ）」な性格の私は射会や審査の話をする同期を眩しく感じながらも「私にもいつかそんな日が来たら素敵だな〜」と、まだ遠い未来の事のようにぼんやり考えておりました。

そんな私が半年後に初段。本人が一番驚いています。

これは初心者教室・アフターフォロー・その後の日々の練習の中で、大勢の先生方や先輩方が丁寧に指導して下さった賜物です。本当にありがとうございました。教わりながら「何かを人に教えるという行為はなんて尊い作業なんだろう。心して教わらねば」と感じました。それでもなかなか上達できず不甲斐ない自分であります。

また、私が奮起できたもう一つの理由は同期の力です。初心者教室が終わると一緒に練習できる機会は減ってしまいましたが（中心になってくれ

た仲間達がいてくれて) 連絡を取り合っていました。その同期の存在が私の力になりました。続けていくうちに、それぞれの歩み・それぞれの目標になっていくかも知れないけれど、同期はずっと同期。いいものだな～と感じます。

そしてこのきっかけを作ってくださったのは、初心者教室最終日の指導部長篠原先生の「同期ってなかなかいいもんですよ。強制はできないけど、連絡先等交換してこれから先もつながっていけるといいですね」との言葉でした。本当に感謝しています。

こうしてたくさんの方々のお陰で、初段になることが出来ました。ありがとうございました。これからも歩みを止めずに学んでいきたいと思えます。どうぞご指導よろしくお願ひいたします。

### 弓道を始めるの記

小室 勇

平成28年9月18日、秩父の審査において、初段に合格することができました。これも偏に篠原先生、平山先生を始め、我慢強く、丁寧にお教えいただいた先生方、諸先輩方のご指導の賜物であると感謝しております。

昨年10月からの初心者教室が私の弓道デビュー。最初は初心者教室だけのつもりでしたが、同期の方の熱心さにあおられた部分もあり、所弓連に入会。しかし入会してからは一人で道場に行く勇気が出ず、月1回の練習ペースになっていました。それなのに怖いもの知らずに今年の5月の初段審査を受け、メガネを飛ばして、見事に落ちてしまいました。

それからです。一念発起、練習量を週1回、2回と増やし、練習に励みました。考えてみれば、元々運動が苦手で不器用な私には練習するしか上達の方法がないことは自明のことで、審査の不合格は私にとっては良い薬となった次第です。

練習を続けるうちに、自分は先生に教えていただいたとおりにやっているつもりだったのが、そうではないと気づいたのが、2回目の審査の1ヶ月前。まっすぐ立って、背筋を伸ばす姿勢すら出

来ていないことがわかったのが、漸くできるようになってからのことです。体配についてはもっとひどく、審査2週間前に同期の仲間が私のために体配の練習を一緒に付き合ってくれたときでした。行射の練習にかまけて、体配を疎かにしていたつけが回って、ボロボロでした。5月の審査に落ちたのは、メガネを飛ばしたことだけではなく、基本の行射、体配がレベルに達していなかっただけでした。それから、審査まで練習を重ね、なんとか審査に合格することが出来ました。

この1年間で感じたことは、まず、練習の時間を取ることに。特に初心者の時は、正しい型を体に覚え込ませるまで集中して練習した方がよいと感じました。また、私のような劣等生には、先生のご指導のことばが、なかなか届かないのです。理解できる段階に達していないものには猫に小判状態です。しかし、いつその段階に達するかわからないからこそ、出来なくても、先生方には何度でも、我慢強くお教えいただくことをお願ひしたいのです。

これからも、先生方のご指導の下、大きな射を第一義に練習を重ね、次のステップに上がれるよう精進したいと考えておりますので、宜しくお願ひいたします。

### ∞ お悔やみ ∞

7月23日、刀裯紀美子さんが逝去されました(享年79歳)。

ここに謹んで哀悼の意を表しおしらせいたします。

9月2日、森田啓治さんが逝去されました(享年92歳)。

ここに謹んで哀悼の意を表しおしらせいたします。

## ∞ 会長月誌 (抄) ∞

平成28年4月10日

所弓連常任委員会

4月14日

市体育協会役員会

・28年度評議員会について

4月16日

所弓連総会

4月21日

振興センターへ事業報告書提出

・地方税減免申請

4月23日

新道場建築関係業務

4月24日

埼玉連評議委員会

・27年度報告と28年度計画

4月28日

新道場建築関係業務

4月30日

新道場建築関係業務

5月 7日

埼玉連理事会

・28年度計事業方針

5月17日

武道館アクリル板防矢工事打ち合わせ

スポ振課、シユースポーツ、施工業者

5月20日

新道場建築関係業務

5月22日

埼玉連総務委員会

・作業分担の確認等

新道場建築関係業務

5月24日

市体育協会理事会

・評議委員会提出書類の承認

6月 1日

新道場建築関係業務

6月 2日

新道場建築関係業務

6月 9日

新道場建築関係業務

・スポーツ振興課

6月10日

体育協会評議委員会

6月11日

新道場建築関係業務

7月 9日

埼玉連臨時理事会

・飯島千代子先生範士昇格祝賀会

28年12月18日(日)

7月19日

武道館人工芝敷設

シティマラソン第1回実行委員会

7月22日

体育協会役員会

8月 2日

開発指導課、スポーツ振興課、弓道連盟(理事全員)のミーティング

・結果:弓道連盟に開発許可をだすのは可能性が零ではないが極めて難しい状況

8月19日

スポーツ振興課訪問(新家・飯島・渡邊)

・反対理由を確認

他の団体からも市街化調整区域の利用依頼があるため、市の計画として計上できない

8月22日

三道大会打ち合わせ

9月 5日

シティマラソン総務部会

9月19日

埼玉連総務委員会

9月24日

糶谷八幡神社例祭の前日御祝を届ける

(神社関係地は新道場建築候補地の一つでした)

10月17日

新道場建築関係業務

・市長面談(市長外・新家、飯島)

## ∞ 編集後記 ∞

## 三度目の微笑

8月8日午前7時40分頃テレビでは、大リーグ3千本安打を記録しダッグアウトに戻ったイチロー選手のサングラスをかけた顔に流れるものを“あれは汗ではない涙ではないか！！”と解説者とアナウンサーが興奮して話しているのを聞きながら、私はその数分前に彼が3塁上で一瞬見せたある表情のことで心が高揚していた。

戦前の教育を受けた母親達は、息子らに“男子は生涯に本当に笑っていいのは三度だけ、最初は結婚した時、二度目は初めての子供が出来た時、そして三度目は男子の志を果たした時、それも皓い歯を見せてはいけない口角をほんの少し上げるだけでいい”と常日頃教えていた。

イチロー選手がプレー中笑顔を見せることはなく、あるとすれば塁上で相手の選手に話かけられてそれに受け答えする時ぐらいのもので、常に修行僧と例えられるあの厳しい表情を崩すことはなかった。

3千本安打達成後のチームメイトからの祝福などのイベントが終わりプレーが再開した直後、カメラは3塁上の生涯三度目の微笑が浮かぶイチロー選手の顔をアップで写し出していた。このとき私は、母が言っていた男性が現世に実在していたことに何故か安堵し、また再びはないであろう男子三度目の微笑を観れたことに対してとても感激し興奮していた。

その昔、東郷提督が鎮海湾の旗艦三笠長官公室で加藤参謀長から「バルチック艦隊は対馬東水道に向かうものの如し」との報を受けた時に、吉房の指揮刀をコトリと床に鳴らせて浮かべた微笑とイチロー選手のそれが同じものだと思うにつけて、全国民が待ち望んでいた計り知れないほど深くて重い微笑であった。

## 編集委員

飯島稔凱 甲斐久歳 小林康則  
山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟会報誌 所弓便 第18号

発行日 平成28年11月30日

発行者 NPO 法人所沢市弓道連盟  
会長 新家 透